



梅雨に入り、じめじめとした空気とどんよりとした雲が空を覆っています。
先日は「七夕」でしたが、長岡はあいにくの曇り空。
星空は諦めて、旧越路町、塚野山牛ノ首地区にホタルを見に出掛けました。
「昔ばなしとほたるの館」に車を停めて田んぼ道沿いを歩きます。

10分ほど歩いて雑木林に突き当たるころ、一筋、二筋と黄緑色の光が見えてきました！
ライトを消して暗闇に目が慣れてくると段々とその数が増えていきます。
水辺の草木を淡々と照らすホタルの光はとても幻想的で、まるで天の川のような（大げさ）！
時が経つのを忘れて見とれました。

地区では「越路ホタルの会」を中心として、その生態調査や生息地の除草、水路の清掃など
地域ぐるみの保全活動が行われています。
会の事務局は地元の酒蔵、朝日酒造内に置かれ、
社員の中にはホタルの保護指導員として活躍している方もおられるのだとか。
良い酒づくりには、良い水と米が欠かせませんし、私たちが日ごろ食べている美味しいご飯
も、健全な自然があってこそ。
農薬を減らしたり、河川や用水路の改修も環境に配慮したものにするなど、
地域の方々が思いを一つにして「ホタルの里」を守っています。後世に遺したい長岡の姿で
す。

ホタルの発生は6月中旬から7月上旬が最盛期。

また、光る様子は一晩中見られるわけではなく、日没後20時くらいまでが目安だそうです。数は少なくなっても8月中旬くらいまで観察できるということですので、お休みの際は足を運んでみてはいかがでしょうか。

※写真は後日、好天に恵まれた日に撮影してきました。